

## 平成21年度病害虫発生予報第11号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	やや多	やや多
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多
	灰色かび病	並	やや多
	コナジラミ類	並	やや多
いちご (本圃)	うどんこ病	並	やや多
	灰色かび病(防除情報第22号)	やや多	やや多
	菌核病(防除情報第22号)	やや多	やや多
	アブラムシ類	少	少
	ハダニ類	並	並
たまねぎ	べと病(注意報第6号継続)	並	やや多
	白色疫病(注意報第6号継続)	やや多	多
	ネギアザミウマ	やや多	やや多

【発生予報】 本文の( )内は平年値

## きゅうり

## 1.べと病

## (1)予報内容

発生程度 並

## (2)予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.6%(4.0%)、発生圃場率は33.3%(36.4%)であった。

## 2.うどんこ病

## (1)予報内容

発生程度 並

## (2)予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.7%(6.0%)、発生圃場率は58.3%(63.5%)であった。

### 3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は5.9%(2.6%)、発生圃場率は58.3%(34.8%)であった。

イ 向こう一か月の気温は高く、降水量は多い見込みであり、本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多湿にならないよう圃場の排水に留意し、高温時の換気をこまめに行う。

イ 被害茎葉は速やかに取り除き、施設外へ持ち出して適切に処分する。

ウ 窒素質肥料の多用を避ける。

エ 耐性菌の出現を避けるため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

### 4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.0%)。

### 5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.1%、発生圃場率6.3%)。

### 6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は2.0%(0.5%)、発生圃場率は25.0%(14.8%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫は黄化えそ病を媒介するので、侵入防止・早期発見・早期防除に努める。

イ ハウス内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去し、環境衛生に努める。

ウ 発生が多くなってからの防除は困難であるため、青色(もしくは黄色)粘着トラップを施設内に設置し、早期発見・早期防除に努める。

エ 本虫は芽に潜り込みやすいので、芽かきした摘葉は残さず集めて施設外に持ち出し、土中に埋めるか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。

オ 強い薬剤抵抗性を持つことが報告されているので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統薬剤の連続使用を避け、ローテーションで使用する。

### 7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.8%(1.6%)、発生圃場率は16.7%(25.2%)であった。

# トマト

## 1. 黄化葉巻病

### (1) 予報内容

発生程度 やや多

### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.9%(前年0.6%、前々年0.6%)、発生圃場率は33.3%(前年40.0%、前々年25.0%)であった。

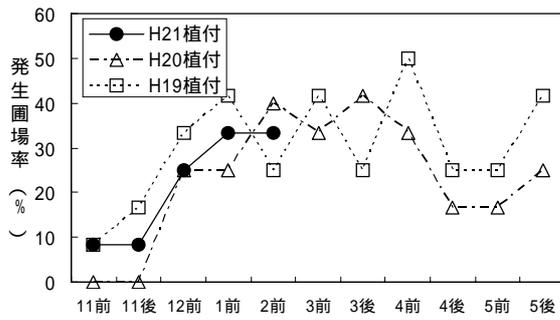


図 トマト 黄化葉巻病 発生圃場率の推移

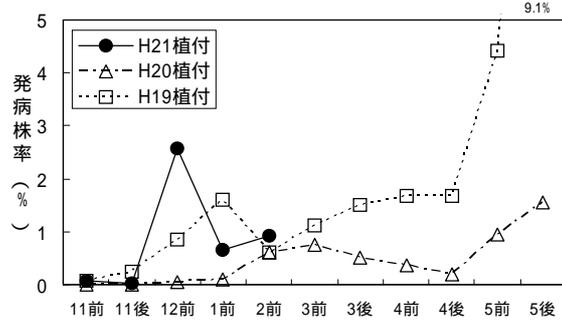


図 トマト 黄化葉巻病 発病株率の推移

### (3) 防除上注意すべき事項

まん延を防ぐため、コナジラミの防除を徹底し、密度を限りなくゼロにする。また、発病株の抜き取りおよび適正処分を徹底する。

## 2. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 やや多

### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率0.2%(0.1%)、発生圃場率8.3%(13.2%)であった。

イ 向こう一か月の気温は高く、降水量は多い見込みであり、本病の発生に好適である。

### (3) 防除上注意すべき事項

ア 多湿にならないよう圃場の排水に留意し、換気をこまめに行う。

イ 発病した果実や枯死葉は、伝染源となるので速やかに取り除き、施設外へ持ち出して適切に処分する。

ウ 耐性菌の出現を避けるため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

## 3. コナジラミ類

### (1) 予報内容

発生程度 やや多

### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は1.2%(0.5%)、発生圃場率は16.7%(16.2%)であった。

イ 向こう一か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

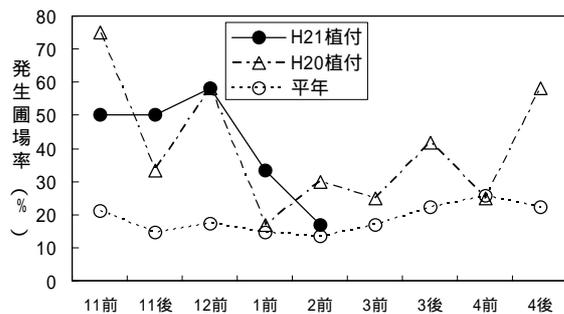


図 トマトコナジラミ類 発生圃場率の推移

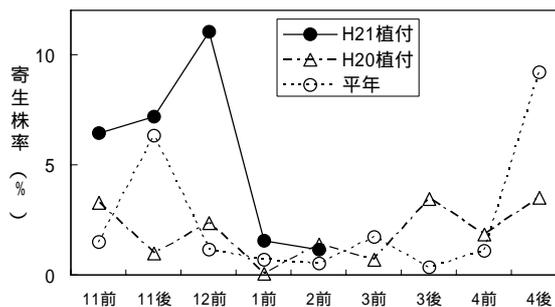


図 トマトコナジラミ類 寄生株率の推移

(3) 防除上注意すべき事項

ア 黄化葉巻病のまん延を防ぐため、黄色粘着板等でコナジラミの密度を把握し、防除を徹底する。

イ タバココナジラミは強い薬剤抵抗性を持つので、薬剤の選定にあたっては十分留意する。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉での発生は認めなかった(発病株率0.4%、発生圃場率7.4%)、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は3.7%(3.7%)であった。

イ 気象予報によると、向こう1ヶ月の気温は高く、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みであり、本病の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 多発すると防除が困難になるので、早期発見、早期防除に努める。

イ 発病葉や発病果実は伝染源となるので、圃場外へ持ち出し、適切に処分する。

ウ 発生を認めたら治療効果のある薬剤を1週間程度の間隔で散布し、防除を徹底する。

エ 薬剤は、葉裏や下位葉にもむらなくかかるように十分量を散布する。

オ 薬剤耐性菌発達の防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

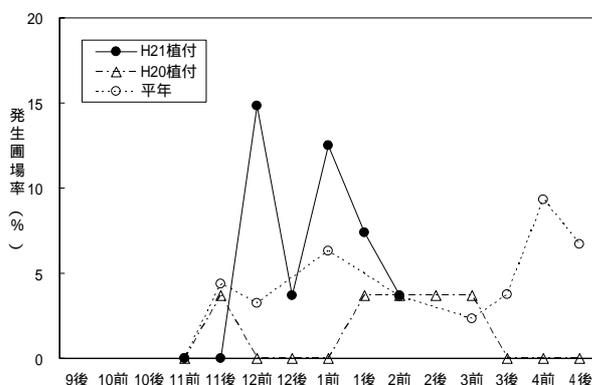


図 いちご うどんこ病(果実) 発生圃場率の推移

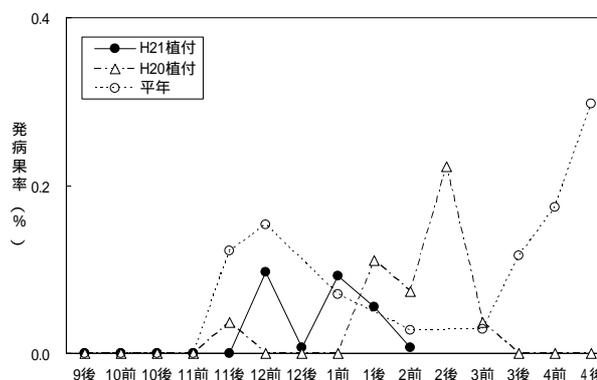


図 いちご うどんこ病(果実) 発病果率の推移

2. 灰色かび病

平成22年2月16日付病害虫発生予察防除情報第22号による。

### 3. 菌核病

平成22年2月16日付病害虫発生予察防除情報第22号による。

### 4. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(寄生株率は0.7%、発生圃場率は8.8%)。

### 5. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.9%(4.1%)、発生圃場率は25.9%(29.0%)であった。

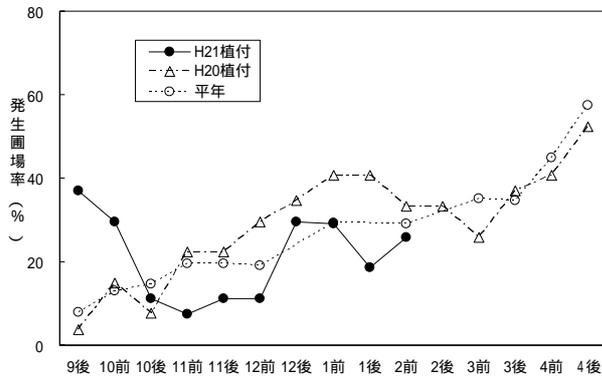


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

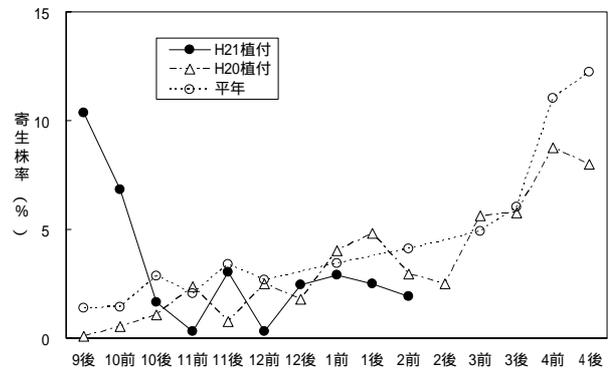


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

## たまねぎ

### 1. ベと病

平成22年2月12日付病害虫発生予察注意報第6号を継続。

その後の発生状況は以下のとおりである。

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率0.0%、発生圃場率は6.7%(発生を認めない)であった。

### 2. 白色疫病

平成22年2月12日付病害虫発生予察注意報第6号を継続。

その後の発生状況は以下のとおりである。

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率0.2%(0.1%)、発生圃場率は26.7%(5.0%)であった。

### 3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は26.8%(13.9%)、発生圃場率は86.7%(62.5%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

葉の間隙等に潜んで寄生しているため、薬剤散布はていねいに行う。

【参考】

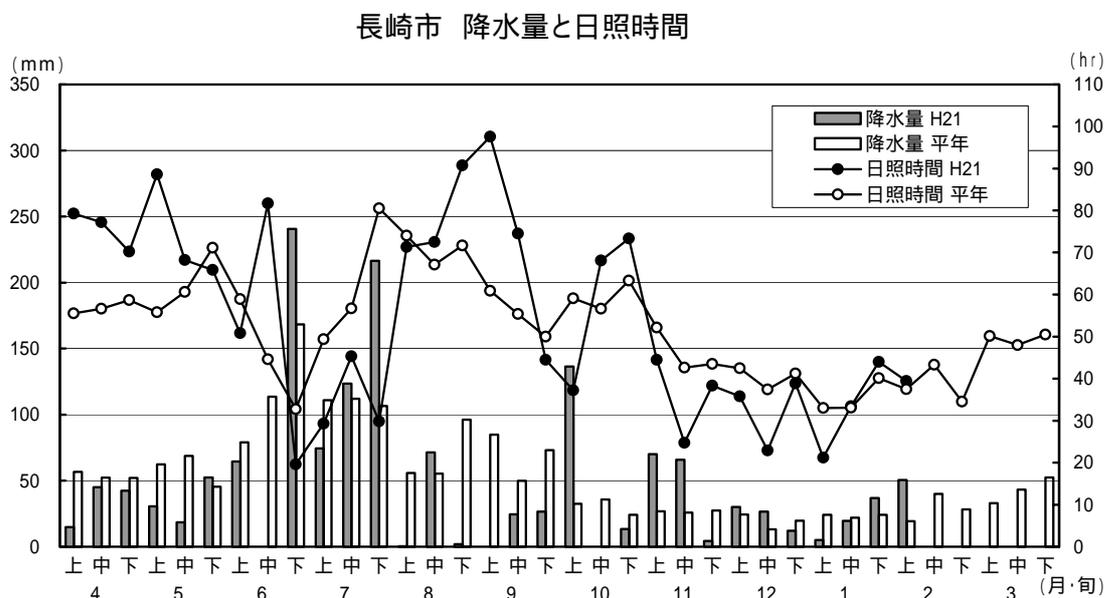
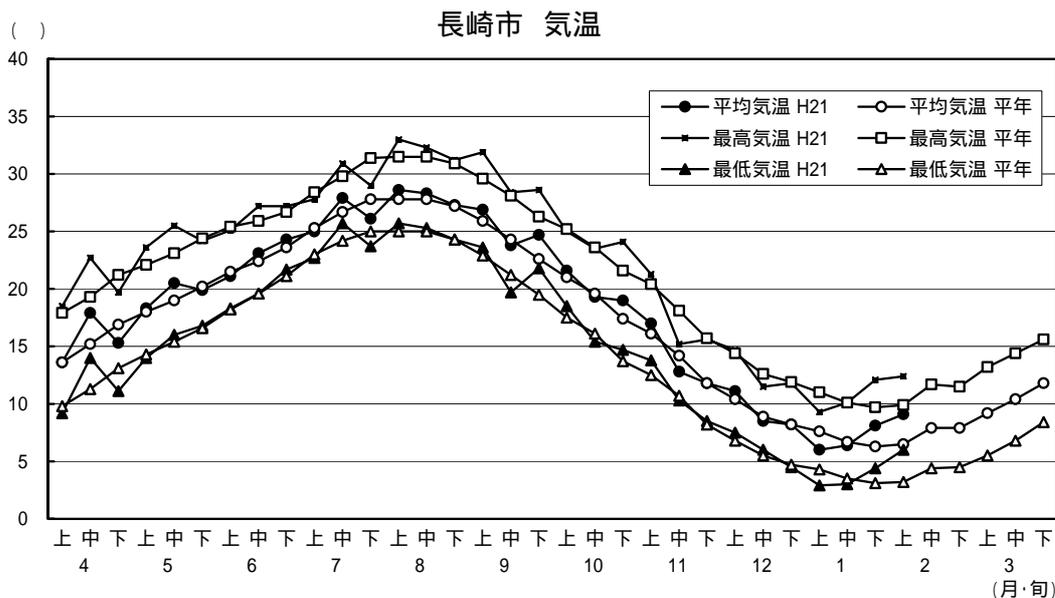
気象 (平成22年2月12日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	30	50
降水量	30	30	40
日照時間	40	30	30

予報対象地域：九州北部地域

平成21年度の気象経過



病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027